

跡地市民病住吉

新病院に小児科・産科の病床を

大阪市議会民生保健委 寺戸議員が質問

3日の大阪市議会民生保健委員会で、日本共産党の寺戸月美議員が、住吉の寺戸月美議員が、住吉の市民病院跡地（大阪市住之江区）に速やかに小児科・産科の病床を確保することなどを求めて質問しました。

市がことし1月に発表した、跡地に整備する新



3日、大阪市議会民生保健委員会
質問する寺戸議員

病院の基本構想案は、小

児科・産科とも外来のみ。同案に対するパブリックコメントには、意見

総数732件中、小児・周産期の病床に関するものが518件に上りました。

これらを受けて策定された基本構想は、病床のあり方について「引き

続き検討課題として取り組んでいく」としています。

寺戸氏は、パブリックコメントでは小児・周産

期の病床設置に関する地域住民の切実な声が非常に多いが、基本構想には全く反映されていないと指摘。病床設置を前向きに、早急に検討するように求めました。

また寺戸氏は、門真市にある寺院が、淀川区西中島2丁目の住宅地に6階建て・約6300基もの巨大納骨堂を、地元住民の合意なしに建設している問題で質問しました。事業主の寺院は、経営や活動の実態が疑われている中で、市が厳正な調査もせず、書類審査のみで納骨堂経営を許可した責任は重大だと批判。寺院への訪問調査を義務付けるよう求めました。